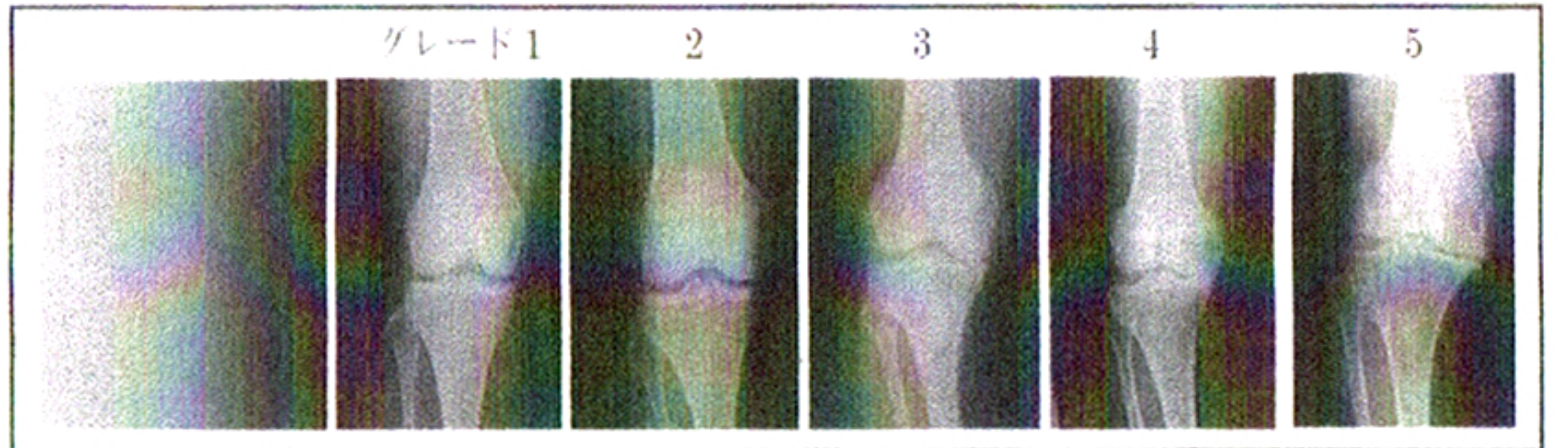


愛媛ものづくり企業データベース
#5
有限会社 愛トリノ

愛媛県が推進する「愛媛ものづくり企業「スゴ技」データベース」。愛媛県が誇る「ものづくり企業」を公募し、高い技術力やすぐれた製品をもつ企業を選定して、113企業の148の技術をデータベース化しました。このデータベースをもとに、愛媛県の魅力ある企業や産業を内外にPRし、販路の拡大、ビジネスチャンスを広げるツールとして役立てる取り組みを実施しています。

**3Dモーション
膝装具
8カ国で特許
登録**

愛媛県松山市山西町にある有限会社愛トリノ(代表取締役 長谷川 学)は、膝関節症の進行を止め、改善する予防医療用膝装具の開発を進めています。平成17年3月に設立、同年11月に2Dモーションメカニズムの特許が登録されました。平成23年12月愛媛県のものづくり助成金により、3Dモーションジョイントの開発を開始。今年10月から3Dモーション治療用膝装具2種類の試験販売を開始しています。今回は有限会社愛トリノの取締役井上誠二さんにお話を聞きました。



【上写真】膝関節症の程度を表すレントゲン写真。数字が大きくなるほど骨の隙間がなくなり、状態が悪い。

膝装具は歩行痛を軽減する効果がなく、ほとんどの医師は人工関節手術を勧めます。しかし、この疾患の多くの要因が生活習慣に起因する場合が多く、適度な運動や食生活の見直しなども必要となります。そこで、井上さんは保存療法を推進しています。3Dモーション膝装具を開発したことにより、人の歩行の動きに追従して変形した関節を矯正し、正しい歩行に誘導する技術を確認。歩行による痛みを軽減することができました。痛みがなくなったり緩和されたりしたことによって、今まで外へ出歩かなかった患者さんが積極的に出歩くようになりました。それが適度な運動となり、筋力アップや維持につながりました。すると膝への負担を減らすことができ、膝関節症の悪化を止めたり、緩和されたりすることができました。また、重症患者だけでなく、予備軍の人や軽症者が装着することで、進行を防ぐこともできるそうです。

井上さんは、初期のケアで将来の重症患者を減らすことができると言います。そうすると、個人や国、市町村が負担する医療費を大幅に削減することができ、さらには高齢の方でも膝装具を付けて適度な運動ができるようになるため、寝たきりを減らし介護費用も削減することができるといいます。現在は見ためや持ち運びに配慮したものの、長時間の装着に耐えられるものなど、軽症患者や予備軍の人が気軽に装着できる装具を研究開発中ということです。済生会松山病院では、膝関節症と診断された方には、愛トリノが開発を行った3Dモーション膝装具を、1ヶ月程の間、貸し出ししてくれるということです。

変形性膝関節症とは?

変形性膝関節症。筋力低下や加齢、肥満に



「3Dなでしこ」



「EXTベガサス」

年10月から3Dモーション治療用膝装具2種類の試験販売を開始しています。今回は有限会社愛トリノの取締役井上誠二さんにお話を聞きました。

膝関節症の治療方法としては薬物投与や装具装着、リハビリなどの保存療法と手術療法の2つがあります。多くの市販の

有限会社愛トリノ

住所 愛媛県松山市山西町997-1
電話番号 089-953-3950
FAX番号 089-953-3990